

# Rev

## Chapter 14

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

- 1    καὶ εἶδον, καὶ ἰδοὺ, τὸ Ἄρνιον ἑστὸς ἐπὶ τὸ ὄρος Σιών,  
そして 私は-見た  そして 見よ -の 小羊が 立っていた -の上に -の 山 シオン  
[G2532](#) [G3708](#) [G2532](#) [G3708](#) [G3588](#) [G0721](#) [G2476](#) [G1909](#) [G3588](#) [G3735](#) [G4622](#)
- καὶ μετ' αὐτοῦ ἑκατὸν τεσσαράκοντα τέσσαρες χιλιάδες, ἔχουσαι τὸ  
そして -と共に その-方 百 四十 四 千の-者が 持っている -の  
[G2532](#) [G3326](#) [G0846](#) [G1540](#) [G5062](#) [G5064](#) [G5505](#) [G2192](#) [G3588](#)
- ὄνομα αὐτοῦ, καὶ τὸ ὄνομα τοῦ Πατρὸς αὐτοῦ, γεγραμμένον ἐπὶ  
名を その-方の  そして -の 名を -の 父 その-方の 書かれた -の上に  
[G3686](#) [G0846](#) [G2532](#) [G3588](#) [G3686](#) [G3588](#) [G3962](#) [G0846](#) [G1125](#) [G1909](#)
- τῶν μετώπων αὐτῶν.  
-の 額 彼らの  
[G3588](#) [G3359](#) [G0846](#)

なお、わたしが見ていると、見よ、小羊がシオンの山に立っていた。また、十四万四千の人々が小羊と共におり、その額に小羊の名とその父の名とが書かれていた。

- 2    καὶ ἤκουσα φωνὴν ἐκ τοῦ οὐρανοῦ, ὡς φωνὴν ὑδάτων πολλῶν,  
そして 私は-聞いた 声を -から -の 天 -のような 声 大水の 多くの  
[G2532](#) [G0191](#) [G5456](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3772](#) [G5613](#) [G5456](#) [G5204](#) [G4183](#)
- καὶ ὡς φωνὴν βροντῆς μεγάλης. καὶ ἡ φωνὴ ἦν ἤκουσα,  
そして -のような 声 雷の 大きな  そして -の 声は その 聞いた  
[G2532](#) [G5613](#) [G5456](#) [G1027](#) [G3173](#) [G2532](#) [G3588](#) [G5456](#) [G3739](#) [G0191](#)
- ὡς κιθαρῶδων κιθαριζόντων ἐν ταῖς κιθάραις αὐτῶν.  
-のようであった 琴弾きたちの 弾く -で -の 琴を 自分の  
[G5613](#) [G2790](#) [G2789](#) [G1722](#) [G3588](#) [G2788](#) [G0846](#)

またわたしは、大水のとどろきのような、激しい雷鳴のような声が、天から出るのを聞いた。わたしの聞いたその声は、琴をひく人が立琴をひく音のようでもあった。

- 3    καὶ ᾄδουσιν <ὡς> ᾠδὴν καινὴν ἐνώπιον τοῦ θρόνου, καὶ ἐνώπιον  
そして 歌っている -のような 歌を 新しい -の前で -の 御座  そして -の前で  
[G2532](#) [G0103](#) [G5613](#) [G5603](#) [G2537](#) [G1799](#) [G3588](#) [G2362](#) [G2532](#) [G1799](#)
- τῶν τεσσάρων ζώων, καὶ τῶν πρεσβυτέρων. καὶ οὐδεὶς ἐδύνατο  
-の 四つの 生き物  そして -の 長老たち  そして 誰も できなかった  
[G3588](#) [G5064](#) [G2226](#) [G2532](#) [G3588](#) [G4245](#) [G2532](#) [G3762](#) [G1410](#)
- μαθεῖν τὴν ᾠδὴν, εἰ μὴ αἱ ἑκατὸν τεσσαράκοντα τέσσαρες χιλιάδες,  
学ぶ-ことが -の 歌を -のみ -のみ -の 百 四十 四 千の-者が  
[G3129](#) [G3588](#) [G5603](#) [G1487](#) [G3361](#) [G3588](#) [G1540](#) [G5062](#) [G5064](#) [G5505](#)
- οἱ ἠγορασμένοι ἀπὸ τῆς γῆς.  
-の 貸い取られた-者たち -から -の 地  
[G3588](#) [G0059](#) [G0575](#) [G3588](#) [G1093](#)

彼らは、御座の前、四つの生き物と長老たちとの前で、新しい歌を歌った。この歌は、地からあがなわれた十四万四千人のほかは、だれも学ぶことができなかった。

4	οὔτοι これらの-者は <a href="#">G3778</a>	εἰσιν -である <a href="#">G1510</a>	οἱ その <a href="#">G3739</a>	μετὰ -と <a href="#">G3326</a>	γυναικῶν 女たち <a href="#">G1135</a>	οὐκ -ない <a href="#">G3756</a>	ἐμολύνθησαν; 汚されて-いない <a href="#">G3435</a>	παρθένοι 童貞で <a href="#">G3933</a>	γάρ なぜなら <a href="#">G1063</a>	
	εἰσιν. あるからだ <a href="#">G1510</a>	οὔτοι これらの-者は <a href="#">G3778</a>	οἱ -の <a href="#">G3588</a>	ἀκολουθοῦντες 従う-者たち <a href="#">G0190</a>	τῷ -の <a href="#">G3588</a>	Ἄρνίῳ 小羊に <a href="#">G0721</a>	ὅπου どこへでも <a href="#">G3699</a>	ἂν -でも <a href="#">G0302</a>	ὑπάγη. 行かれる <a href="#">G5217</a>	
	οὔτοι これらの-者は <a href="#">G3778</a>	ἠγοράσθησαν 貸い取られた <a href="#">G0059</a>	ἀπὸ -から <a href="#">G0575</a>	τῶν -の <a href="#">G3588</a>	ἀνθρώπων 人々 <a href="#">G0444</a>	ἀπαρχή 初穂として <a href="#">G0536</a>	τῷ -の <a href="#">G3588</a>	Θεῷ, 神と <a href="#">G2316</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	τῷ -の <a href="#">G3588</a>

Ἄρνίῳ:  
小羊に  
[G0721](#)

彼らは、女にふれたことのない者である。彼らは、純潔な者である。そして、小羊の行く所へは、どこへでもついて行く。彼らは、神と小羊とにささげられる初穂として、人間の中からあがなわれた者である。

5	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	ἐν -に <a href="#">G1722</a>	τῷ -の <a href="#">G3588</a>	στόματι 口 <a href="#">G4750</a>	αὐτῶν 彼らの <a href="#">G0846</a>	οὐχ -ない <a href="#">G3756</a>	εὐρέθη 見つからなかった <a href="#">G2147</a>	ψεῦδος; 偶りが <a href="#">G5579</a>	ἄμωμοί 傷の-ない-者で <a href="#">G0299</a>
	εἰσιν ある <a href="#">G1510</a>	{ἐνώπιον -の前で <a href="#">G1799</a>	τοῦ -の <a href="#">G3588</a>	θρόνου 御座 <a href="#">G2362</a>	τοῦ -の <a href="#">G3588</a>	Θεοῦ}. 神 <a href="#">G2316</a>			

彼らの口には偽りがなく、彼らは傷のない者であった。

6	Καὶ そして <a href="#">G2532</a>	εἶδον 私は-見た <a href="#">G3708</a>	ἄλλον もう-一人の <a href="#">G0243</a>	ἄγγελον 御使いが <a href="#">G0032</a>	πετόμενον 飛んでいるのを <a href="#">G4072</a>	ἐν -に <a href="#">G1722</a>	μεσουρανῆματι, 天の-中央 <a href="#">G3321</a>	ἔχοντα 持っている <a href="#">G2192</a>		
	εὐαγγέλιον 福音を <a href="#">G2098</a>	αἰώνιον 永遠の <a href="#">G0166</a>	εὐαγγελίῳ 告げる-ために <a href="#">G2097</a>	ἐπὶ -の上に <a href="#">G1909</a>	τοὺς -の <a href="#">G3588</a>	καθημένους 座っている-者たち <a href="#">G2521</a>	ἐπὶ -の上に <a href="#">G1909</a>	τῆς -の <a href="#">G3588</a>	γῆς, 地 <a href="#">G1093</a>	
	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	ἐπὶ -の上に <a href="#">G1909</a>	πᾶν すべての <a href="#">G3956</a>	ἔθνος, 国民と <a href="#">G1484</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	φυλὴν, 部族と <a href="#">G5443</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	γλῶσσαν, 言葉と <a href="#">G1100</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	λαόν; 民に <a href="#">G2992</a>

わたしは、もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、

7	λέγων 言っ <a href="#">G3004</a>	ἐν -で <a href="#">G1722</a>	φωνῇ 声 <a href="#">G5456</a>	μεγάλῃ, 大きな <a href="#">G3173</a>	Φοβήθητε 神を-畏れよ <a href="#">G5399</a>	τὸν -の <a href="#">G3588</a>	Θεὸν, 神 <a href="#">G2316</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	δότε 与えよ <a href="#">G1325</a>	αὐτῷ 神に <a href="#">G0846</a>	δόξαν, 栄光を <a href="#">G1391</a>
	ὅτι なぜなら <a href="#">G3754</a>	ἦλθεν 来た <a href="#">G2064</a>	ἡ -の <a href="#">G3588</a>	ὥρα 時が <a href="#">G5610</a>	τῆς -の <a href="#">G3588</a>	κρίσεως 裁き <a href="#">G2920</a>	αὐτοῦ; 神の <a href="#">G0846</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	προσκυνήσατε 拝め <a href="#">G4352</a>	τῷ -の <a href="#">G3588</a>	
	ποιήσαντι 造った-方を <a href="#">G4160</a>	τὸν -の <a href="#">G3588</a>	οὐρανόν, 天と <a href="#">G3772</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	τὴν -の <a href="#">G3588</a>	γῆν, 地と <a href="#">G1093</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	θάλασσαν, 海と <a href="#">G2281</a>	καὶ そして <a href="#">G2532</a>	πηγὰς 水の-源を <a href="#">G4077</a>	
	ὑδάτων. 水の <a href="#">G5204</a>										

大声で言った、「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め」。

8 Καὶ ἄλλος, ἄγγελος□ δεύτερος ἠκολούθησεν, λέγων, Ἔπεσεν, ἔπεσεν  
 そして もう一人の 御使いが 第二の 従った 言って 倒れた 倒れた  
[G2532](#) [G0243](#) [G0032](#) [G1208](#) [G0190](#) [G3004](#) [G4098](#) [G4098](#)

Βαβυλῶν ἡ μεγάλη; ἡ ἐκ τοῦ οἴνου τοῦ θυμοῦ τῆς πορνείας  
 バビロンは -の 大なる その -の -の ぶどう酒 -の 怒り -の 淫行  
[G0897](#) [G3588](#) [G3173](#) [G3739](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3631](#) [G3588](#) [G2372](#) [G3588](#) [G4202](#)

αὐτῆς, πεπότικεν πάντα τὰ ἔθνη.  
 彼女の 飲ませた すべての -の 国々に  
[G0846](#) [G4222](#) [G3956](#) [G3588](#) [G1484](#)

また、ほかの第二の御使が、続いてきて言った、「倒れた、大なるバビロンは倒れた。その不品行に対する激しい怒りのぶどう酒を、あらゆる国民に飲ませた者」。

9 Καὶ ἄλλος, ἄγγελος, τρίτος, ἠκολούθησεν αὐτοῖς, λέγων ἐν φωνῇ  
 そして もう一人の 御使いが 第三の 従った 彼らに 言って -で 声  
[G2532](#) [G0243](#) [G0032](#) [G5154](#) [G0190](#) [G0846](#) [G3004](#) [G1722](#) [G5456](#)

μεγάλη, εἶ τις προσκυνεῖ τὸ θηρίον καὶ τὴν εἰκόνα αὐτοῦ, καὶ  
 大きな もし 誰かが 拜む-なら -の 獣と そして -の 像を その そして  
[G3173](#) [G1487](#) [G5100](#) [G4352](#) [G3588](#) [G2342](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1504](#) [G0846](#) [G2532](#)

λαμβάνει χάραγμα ἐπὶ τοῦ μετώπου αὐτοῦ, ἢ ἐπὶ τὴν χεῖρα  
 受ける-なら 刻印を -の上に -の 額 その あるいは -の上に -の 手  
[G2983](#) [G5480](#) [G1909](#) [G3588](#) [G3359](#) [G0846](#) [G2228](#) [G1909](#) [G3588](#) [G5495](#)

αὐτοῦ,  
 その  
[G0846](#)

ほかの第三の御使が彼らに続いてきて、大声で言った、「おおよそ、獣とその像とを拜み、額や手に刻印を受ける者は、

10 καὶ αὐτὸς πίεται ἐκ τοῦ οἴνου τοῦ θυμοῦ τοῦ Θεοῦ, τοῦ  
 その-者も 自ら 飲むであろう -から -の ぶどう酒 -の 怒り -の 神 -の  
[G2532](#) [G0846](#) [G4095](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3631](#) [G3588](#) [G2372](#) [G3588](#) [G2316](#) [G3588](#)

κεκρασμένου ἀκράτου ἐν τῷ ποτηρίῳ τῆς ὀργῆς αὐτοῦ; καὶ  
 混ぜられた 混ぜ物なしの -に -の 杯 -の 怒り 神の そして  
[G2767](#) [G0194](#) [G1722](#) [G3588](#) [G4221](#) [G3588](#) [G3709](#) [G0846](#) [G2532](#)

βασανισθήσεται ἐν πυρὶ καὶ θείῳ, ἐνώπιον ἀγγέλων ἁγίων, καὶ  
 苦しめられるであろう -で 火と そして 硫黄 -の前で 御使いたち 聖なる そして  
[G0928](#) [G1722](#) [G4442](#) [G2532](#) [G2303](#) [G1799](#) [G0032](#) [G0040](#) [G2532](#)

ἐνώπιον τοῦ Ἄρνιου.  
 -の前で -の 小羊  
[G1799](#) [G3588](#) [G0721](#)

神の怒りの杯に混ぜものなしに盛られた、神の激しい怒りのぶどう酒を飲み、聖なる御使たちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。

11 καὶ ὁ καπνὸς τοῦ βασιανισμοῦ αὐτῶν εἰς αἰῶνας αἰώνων ἀναβαίνει;  
 そして -の 煙は -の 苦しみ 彼らの -へ 世々 世々 立ち上る  
[G2532](#) [G3588](#) [G2586](#) [G3588](#) [G0929](#) [G0846](#) [G1519](#) [G0165](#) [G0165](#) [G0305](#)

καὶ οὐκ ἔχουσιν ἀνάπαυσιν, ἡμέρας καὶ νυκτός, οἱ προσκυνοῦντες τὸ  
 そして -ない 持たない 休みを 昼も そして 夜も -の 拜む-者たちは -の  
[G2532](#) [G3756](#) [G2192](#) [G0372](#) [G2250](#) [G2532](#) [G3571](#) [G3588](#) [G4352](#) [G3588](#)

θηρίον καὶ τὴν εἰκόνα αὐτοῦ, καὶ εἴ τις λαμβάνει τὸ χάραγμα  
 獣と そして -の 像を その そして もし 誰かが 受ける-なら -の 刻印を  
[G2342](#) [G2532](#) [G3588](#) [G1504](#) [G0846](#) [G2532](#) [G1487](#) [G5100](#) [G2983](#) [G3588](#) [G5480](#)

τοῦ ὀνόματος αὐτοῦ.  
 -の 名 その  
[G3588](#) [G3686](#) [G0846](#)

その苦しみの煙は世々限りなく立ちのぼり、そして、獣とその像とを拜む者、また、だれでもその名の刻印を受けている者は、昼も夜も休みが得られない。

12 ἔδωκε ἡ ὑπομονὴ τῶν ἁγίων ἐστίν, οἱ τηροῦντες τὰς ἐντολάς τοῦ  
 ここに -の 忍耐が -の 聖徒たち ある -の 守る-者たち -の 戒めを -の  
[G5602](#) [G3588](#) [G5281](#) [G3588](#) [G0040](#) [G1510](#) [G3588](#) [G5083](#) [G3588](#) [G1785](#) [G3588](#)

Θεοῦ, καὶ τὴν πίστιν Ἰησοῦ.  
 神 そして -の 信仰を イエスの  
[G2316](#) [G2532](#) [G3588](#) [G4102](#) [G2424](#)

ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある」。

13 Καὶ ἤκουσα φωνῆς ἐκ τοῦ οὐρανοῦ, λεγούσης Γράψον, Μακάριοι οἱ  
 そして 私は-聞いた 声を -から -の 天 言う 書け 幸いである -の  
[G2532](#) [G0191](#) [G5456](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3772](#) [G3004](#) [G1125](#) [G3107](#) [G3588](#)

νεκροὶ οἱ ἐν Κυρίῳ ἀποθνήσκοντες ἀπ' ἄρτι. ναί, λέγει τὸ  
 死者たちは -の -にあって 主 死ぬ-者たち -から 今から そうだ 言う -の  
[G3498](#) [G3588](#) [G1722](#) [G2962](#) [G0599](#) [G0575](#) [G0737](#) [G3483](#) [G3004](#) [G3588](#)

Πνεῦμα, ἵνα ἀναπαήσονται ἐκ τῶν κόπων αὐτῶν; τὰ γὰρ ἔργα  
 御霊は -して 休むであろう -から -の 労苦 彼らの -の なぜなら 行いが  
[G4151](#) [G2443](#) [G0373](#) [G1537](#) [G3588](#) [G2873](#) [G0846](#) [G3588](#) [G1063](#) [G2041](#)

αὐτῶν ἀκολουθεῖ μετ' αὐτῶν.  
 彼らの 従うからだ -と共に 彼らの  
[G0846](#) [G0190](#) [G3326](#) [G0846](#)

またわたしは、天からの声がこう言うのを聞いた、「書きしるせ、『今から後、主にあって死ぬ死人はさいわいである』」。御霊も言う、「しかり、彼らはその労苦を解かれて休み、そのわざは彼らについていく」。

14 Καὶ εἶδον, καὶ ἰδοὺ, νεφέλη λευκή, καὶ ἐπὶ τὴν νεφέλην  
 そして 私は-見た そして 見よ 雲が 白い そして -の上に -の 雲  
[G2532](#) [G3708](#) [G2532](#) [G3708](#) [G3507](#) [G3022](#) [G2532](#) [G1909](#) [G3588](#) [G3507](#)

καθήμενον ὅμοιον υἱὸν ἀνθρώπου, ἔχων ἐπὶ τῆς κεφαλῆς  
 座っている-方が 似ている 人の-子に 人の 持っている -の上に -の 頭  
[G2521](#) [G3664](#) [G5207](#) [G0444](#) [G2192](#) [G1909](#) [G3588](#) [G2776](#)

αὐτοῦ στέφανον χρυσοῦν, καὶ ἐν τῇ χειρὶ αὐτοῦ δρέπανον ὀξύ.  
 その-方の 冠を 金の そして -に -の 手 その-方の 鎌を 鋭い  
[G0846](#) [G4735](#) [G5552](#) [G2532](#) [G1722](#) [G3588](#) [G5495](#) [G0846](#) [G1407](#) [G3691](#)

また見てみると、見よ、白い雲があって、その雲の上に人の子のような者が座しており、頭には金の冠をいただき、手には鋭いかまを持っていた。

15 Καὶ ἄλλος ἄγγελος ἐξῆλθεν ἐκ τοῦ ναοῦ, κράζων ἐν φωνῇ  
 そして もう一人の 御使いが 出て-来た -から -の 神殿 叫んで -で 声  
[G2532](#) [G0243](#) [G0032](#) [G1831](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3485](#) [G2896](#) [G1722](#) [G5456](#)

μεγάλη τῷ καθήμενῳ ἐπὶ τῆς νεφέλης, Πέμψον τὸ δρέπανόν σου  
 大きな -の 座っている-方に -の上に -の 雲 送れ -の 鎌を あなたの  
[G3173](#) [G3588](#) [G2521](#) [G1909](#) [G3588](#) [G3507](#) [G3992](#) [G3588](#) [G1407](#) [G4771](#)

καὶ θερίσον; ὅτι ἦλθεν ἡ ὥρα θερίσαι, ὅτι ἐξηράνθη ὁ  
 そして 刈り取れ なぜなら 来た -の 時が 刈り取る なぜなら 乾いた -の  
[G2532](#) [G2325](#) [G3754](#) [G2064](#) [G3588](#) [G5610](#) [G2325](#) [G3754](#) [G3583](#) [G3588](#)

θερισμὸς τῆς γῆς.  
 収穫が -の 地  
[G2326](#) [G3588](#) [G1093](#)

すると、もうひとりの御使が聖所から出てきて、雲の上に座している者にむかって大声で叫んだ、「かまを入れて刈り取りなさい。地の穀物は全く実り、刈り取るべき時がきた」。

16 καὶ ἔβαλεν ὁ καθήμενος ἐπὶ τῆς νεφέλης, τὸ δρέπανον αὐτοῦ  
 そして 投げた -の 座っている-方は -の上に -の 雲 -の 鎌を その-方の  
[G2532](#) [G0906](#) [G3588](#) [G2521](#) [G1909](#) [G3588](#) [G3507](#) [G3588](#) [G1407](#) [G0846](#)

ἐπὶ τὴν γῆν, καὶ ἐθερίσθη ἡ γῆ.  
 -の上に -の 地 そして 刈り取られた -の 地は  
[G1909](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2532](#) [G2325](#) [G3588](#) [G1093](#)

雲の上に座している者は、そのかまを地に投げ入れた。すると、地のものが刈り取られた。

17 Καὶ ἄλλος ἄγγελος ἐξῆλθεν ἐκ τοῦ ναοῦ τοῦ ἐν τῷ οὐρανῷ,  
 そして もう一人の 御使いが 出て-来た -から -の 神殿 -の -にある -の 天  
[G2532](#) [G0243](#) [G0032](#) [G1831](#) [G1537](#) [G3588](#) [G3485](#) [G3588](#) [G1722](#) [G3588](#) [G3772](#)

ἔχων καὶ αὐτὸς δρέπανον ὀξύ.  
 持っている もまた 自らも 鎌を 鋭い  
[G2192](#) [G2532](#) [G0846](#) [G1407](#) [G3691](#)

また、もうひとりの御使が、天の聖所から出てきたが、彼もまた鋭いかまを持っていた。

18 Καὶ ἄλλος ἄγγελος ἐξῆλθεν ἐκ τοῦ θυσιαστηρίου, ὁ ἔχων  
 そして もう一人の 御使いが 出て-来た -から -の 祭壇 -の 持つ-者  
[G2532](#) [G0243](#) [G0032](#) [G1831](#) [G1537](#) [G3588](#) [G2379](#) [G3588](#) [G2192](#)

ἐξουσίαν ἐπὶ τοῦ πυρός, καὶ ἐφώνησεν φωνῇ μεγάλη τῷ ἔχοντι τὸ  
 権威を -の上に -の 火 そして 呼んだ 声で 大きな -の 持つ-者に -の  
[G1849](#) [G1909](#) [G3588](#) [G4442](#) [G2532](#) [G5455](#) [G5456](#) [G3173](#) [G3588](#) [G2192](#) [G3588](#)

δρέπανον τὸ ὀξύ, λέγων, Πέμψον σου τὸ δρέπανον τὸ ὀξύ, καὶ  
 鎌を -の 鋭い 言って 送れ あなたの -の 鎌を -の 鋭い そして  
[G1407](#) [G3588](#) [G3691](#) [G3004](#) [G3992](#) [G4771](#) [G3588](#) [G1407](#) [G3588](#) [G3691](#) [G2532](#)

τρύγησον τοὺς βότρυας τῆς ἀμπέλου τῆς γῆς; ὅτι ἤκμασαν αἱ  
 刈り集めよ -の 房を -の ぶどうの木 -の 地 なぜなら 熟した -の  
[G5166](#) [G3588](#) [G1009](#) [G3588](#) [G0288](#) [G3588](#) [G1093](#) [G3754](#) [G0187](#) [G3588](#)

σταφυλαὶ αὐτῆς.  
 ぶどうが その  
[G4718](#) [G0846](#)

さらに、もうひとりの御使で、火を支配する権威を持っている者が、祭壇から出てきて、鋭いかまを持つ御使にむかい、大声で言った、「その鋭いかまを地に入れて、地のぶどうのふさを刈り集めなさい。ぶどうの実がすでに熟しているから」。

19 καὶ ἔβαλεν ὁ ἄγγελος τὸ δρέπανον αὐτοῦ εἰς τὴν γῆν, καὶ  
 そして 投げた -の 御使いは -の 鎌を その -へ -の 地 そして  
[G2532](#) [G0906](#) [G3588](#) [G0032](#) [G3588](#) [G1407](#) [G0846](#) [G1519](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2532](#)

ἐτρύγησεν τὴν ἄμπελον τῆς γῆς, καὶ ἔβαλεν εἰς τὴν ληνὸν τοῦ  
 刈り集めた -の ぶどうの木を -の 地 そして 投げ入れた -へ -の 酒ぶねに -の  
[G5166](#) [G3588](#) [G0288](#) [G3588](#) [G1093](#) [G2532](#) [G0906](#) [G1519](#) [G3588](#) [G3025](#) [G3588](#)

θυμοῦ τοῦ Θεοῦ τὸν μέγαν;  
 怒り -の 神 -の 大なる  
[G2372](#) [G3588](#) [G2316](#) [G3588](#) [G3173](#)

そこで、御使はそのかまを地に投げ入れて、地のぶどうを刈り集め、神の激しい怒りの大きな酒ぶねに投げ込んだ。

20 καὶ ἐπατήθη ἡ ληνὸς ἔξωθεν τῆς πόλεως, καὶ ἐξῆλθεν αἷμα ἐκ  
 そして 踏まれた -の 酒ぶねは 外で -の 都 そして 出た 血が -から  
[G2532](#) [G3961](#) [G3588](#) [G3025](#) [G1855](#) [G3588](#) [G4172](#) [G2532](#) [G1831](#) [G0129](#) [G1537](#)

τῆς ληνοῦ, ἄχρι τῶν χαλινῶν τῶν ἵππων, ἀπὸ σταδίων χιλίων ἑξακοσίων.  
 -の 酒ぶね -まで -の くつわ -の 馬 -から スタディア 千 六百の  
[G3588](#) [G3025](#) [G0891](#) [G3588](#) [G5469](#) [G3588](#) [G2462](#) [G0575](#) [G4712](#) [G5507](#) [G1812](#)

そして、その酒ぶねが都の外で踏まれた。すると、血が酒ぶねから流れ出て、馬のくつわにとどくほどになり、一千六百丁にわたってひろがった。